

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念（ミッション）

グローバルな保険・金融サービス事業を通じて、安心と安全を提供し、活力ある社会の発展と地球の健やかな未来を支える

グループ修正利益
7,600億円

グループ修正ROE
16%

IFRS純利益
4,500億円

ESR
180～250%

② 中長期の経営戦略

1. 提供価値の変革

デジタル技術・データを活用した補償・保障前後を含む商品・サービスの開発、自動車保険・火災保険の収益力強化

2. 事業構造の変革

国内損害保険市場の成長鈍化に対応し、海外事業・生保事業の拡大による分散ポートフォリオの実現

3. 生産性・収益性の変革

1 プラットフォーム戦略によるグループシナジーの発揮と持続可能な事業運営体制の構築

4. 2 社合併の決定

三井住友海上火災保険とあいおいニッセイ同和損害保険を2027年4月を目途に合併し、強固な国内損害保険事業体制を構築

③ 対処すべき課題

① 信頼回復と規制対応

- ・保険料調整行為等の不適切事案を受けた保険業法改正への適切な対応
- ・お客さまと社会からの信頼回復に向けた取組み推進
- ・全役職員及び代理店の行動見直しと業務運営ルールの明確化

② 事業環境の急速な変化への対応

- ・デジタル技術の進展と生成AI等新たなソリューション活用
- ・人手不足に対応した人的資本投資の拡大
- ・自然災害甚大化・頻発化、インフレ継続への収益力強化

③ リスク管理と資本効率向上

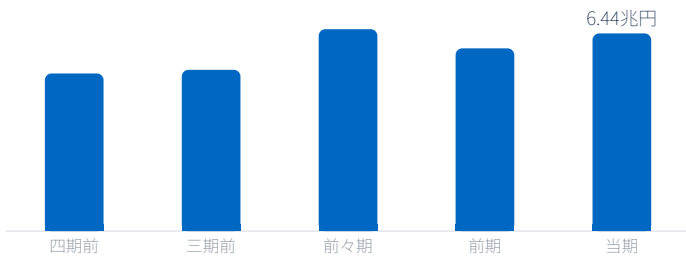
- ・法務リスク・コンダクトリスク等の定性的評価と態勢強化
- ・2030年3月末までに政策株式保有ゼロを実現
- ・第2線・第3線のリスク管理態勢強化と予兆検知能力向上

面接で使えるポイント

- ・グローバルな保険・金融サービスを通じて安心と安全を提供し、活力ある社会の発展と地球の健やかな未来を支える経営理念に共感で…
- ・2027年4月の三井住友海上火災保険とあいおいニッセイ同和損害保険の合併による国内損害保険事業体制強化に関心を持つこと
- ・デジタル技術と生成AIを活用したビジネススタイルの大変革や、人手不足対応としての人的資本投資に貢献したい姿勢

証券コード 8725

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



暗記する数字3つ

連結売上高
1.12兆円営業利益率
－（未開示）財務健康度
49点 / 100点要するに
MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社は

主力事業・セグメント

- ・海外Subsidiaries・A 40.1%
- ・MitsuiSumitomo保険 30.8%
- ・AioiNissayDowa保険 22.5%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高1.12兆円の大企業
- ・将来性評価は晴れ時々曇り
- ・平均勤続21.7年と定着率が高い

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 58.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収

1,238万円

保険業内 4位/12社

平均年齢

47.2歳

保険業内 2位/12社

平均勤続

21.7年

保険業内 1位/12社

女性管理職

12.8%

保険業内 8位/11社

男性育休

100.0%

保険業内 3位/10社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: MS & A D インシュアランスグループホールディングス(株) 【8

